



○会長挨拶	1
○総会開催	2
○令和8年度後半の行事	2
○ジュニアリーダー研修会	3
○育成者セミナー	
～子ども会活動におけるコンプライアンス～	4
○ジュニアリーダースーパー研修会	5
○安全啓発初級ファシリテーター養成講習会	5
○ジュニアリーダー研修会	
～キャンプ in 御殿場～	6
○キャンプに参加した6年生にインタビュー	7
○地少協の活動	8
○編集後記	8



元気に体操 ～朝のつとめ～

60周年の節目を無事に終えることができ、関係者の皆様へ深く感謝申し上げます。

今年度も4月よりジュニアリーダー研修会が19会場で開催され、375名の研修生が各会場で遊び・学び・友達作りを実践することができました。

研修会を修了した小学6年生約80名、スーパー研修会の中学生約30名、リーダー・スタッフを含めて総勢170名で、8月9日・11日（2泊3日）国立中央青少年交流の家（御殿場市）に行つてまいりました。今年のテーマは、「わくわくチャレンジ 新しい自分に出会うキャンプ」で、富士山の麓にお

令和8年度を 迎えてのご挨拶

足立区少年団体連合協議会

会長 四宮 淳司



いて、自然体験活動を満喫できました。

今年度の5年生は、11月に南房総市での宿泊キャンプを予定しております。

子どもたちの健やかな成長を支える学び・体験活動の場をたくさん提供できるよう、少連協・各地少協・リーダー一丸となつて、年間頑張つてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



令和8年度 総会開催



▲区歌斉唱

総務部長 坂田 光穂

令和8年5月16日(土) 足立区勤労福祉会館にて、8年度総会を開催しました。参加者90人で、各地少協の育成者をはじめ、ジュニアリーダー、ユースリーダーたちの参加もありました。

少連協の事業については、区の理解もあり、年々予算が増額されてきています。今年もジュニアリーダー研修会に力を入れて、子どもたちの体験を増やし、社会に参画できる青少年の成長に役立つ少連協活動を展開していくことを参加者全員で誓いました。

総会後には、懇親会を開催し、中村教育長をはじめ教育関係者、健全育成の先輩たちと歓談し、とても和やかな



▲ジュニアリーダー代表・副代表

会となりました。創立60年から70年に向けて新たなスタートを切ることができました。

退任常任理事 ごあいさつ

前東綾瀬地少協 会長 足立 義之

最初の頃は何も分からない中、周りの皆さまに助けていただきながらの出發でした。特に少連協の役員の皆さまからは色々な助言をしていただき大変助かりました。後任の大江会長の調整力は大変素晴らしい、安心して会をお任せできる方です。私もあと少しだけ大江会長と共に活動をして行きたいと思っています。

新任役員 ごあいさつ

書記 江北地少協 会長 町側 尚則

少連協では13年前から育成部員としてキャンプのお手伝いやジュニアリーダー育成に協力していましたが、この度、少連協の執行部で書記を拝命いたしました。

足立区の子どもの笑顔の為、また子ども会での活性化の為、また、ジュニアリーダーがスキルアップできる為、執行部の皆さんと力を合わせて活動して参りますので、よろしく願いいたします。

新任常任理事 ごあいさつ

第十一地少協 会長 前島 政章

昨年度まで、青少年委員として学校中心に地域の子どもたちと様々な活動をしてきました。今後は地域の子どもの皆様と信頼関係を構築し、一歩一歩子どもたちのために活動を進めて行きたいと思っています。また、地少協の活動はコロナ禍前後から停滞しているため、皆様に教えていただくことも多々あると思います。今後ともよろしくお願いいたします。

東綾瀬地少協 会長 大江 英樹

東綾瀬は、綾瀬地区の子ども会を中心とした連合組織ですが、蒲原、中川、第13と合同事業を実施しており、近隣の地少協の皆さまにはいつもお世話になっております。

また、少連協活動においては今年度からキャンプに初参加となります。地少協、少連協いずれも諸先輩の皆さまのご指導と助言をいただきながら活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



令和8年度 後半の予定

10月10～11日	Aフェスタ
11月21～23日	宿泊キャンプ(小5) (大房岬自然の家)
11月21～22日	全国子ども会連合会大会(大阪)
11月28日	東京都子ども会連合会育成研究協議会
11月29日	日帰りバス研修会
2月11日	ドッジビー大会
3月中旬以降	ジュニアリーダースキルアップキャンプ

ジュニアリーダー



研修会

4～6月にかけて、足立区内19会場において、ジュニアリーダー研修会が行われました。各会場では、4～6年生までの小学生が、講師・チューター・カウンセラー（中学生リーダー）の指導の下、色々なゲーム等を通して、仲間と協力する力を身に付けることが出来ました。その研修会の中から、第八・鹿浜地少協（会場 鹿浜五色桜小学校）において活動した講師たちにインタビューしました。



チューター 宇賀治 李緒

（キャンブネーム すーちゃん）

私は、研修生やジュニアリーダー、大人を含む全員が安全に研修会を終えることができるよう、常に安全に気をつけて研修会を行いました。せっかくの経験や思い出が怪我や事故によって嫌な思い出になってしまったら、もったいないと思うからです。

ジュニアリーダークラブの活動では、普段の学校生活では体験のできないような体験や活動、新しいコミュニケーションでの交流を楽しむことができます。



チューター 今谷 紗季

（キャンブネーム さつき）

私が一番気を付けたことは、常に笑顔で参加者と接することです。研修会には初めて参加する人も多く、緊張している子もいたので、少しでも安心して過ごしてもらえようように笑顔を意識しました。笑顔で接することで話しかけやすい雰囲気になり、参加者も気軽に相談したり、活動に積極的に参加しやすくなると思ったからです。参加者からもらった皆さんの笑顔が溢れる研修会になればいいなと思いました。



▶ 仲良く手をつないで

◀ グループで知恵を出しあって



参加者感想

「よかったこと」

- ・ みんなで協力しながら楽しくゲームができた。
- ・ 初めて会った友達と、楽しく仲を深めることができた。
- ・ 違う学校の子と仲良くできた。

「覚えたこと」

- ・ 色々なゲーム。
- ・ 新しい友達との接し方。



◀ 発表の時間



カウンセラー 斉藤 柚子香

（キャンブネーム ゆずか）

私がジュニアリーダー研修会のカウンセラーとして一番気をつけたことは、参加者一人ひとりが安心して過ごせる雰囲気づくりです。初めて参加する子や緊張している子もいたため、自分から積極的に声をかけ、笑顔で接することを意識しました。また、活動中は周りをよく見て、困っている子や一人になっている子がいなか気を配り、必要に応じてサポートしました。そうすることで、誰もが安心して活動に参加でき、仲間との交流も深まると考えたからです。子どもたちが笑顔で楽しみながら成長する姿を見ることができ、私自身もカウンセラーとして大切なことを改めて学ぶことができました。



育成者セミナー

子ども会活動における

コンプライアンス



事業研修部長 井門 明洋

研修会となりました。

令和8年6月21日(日)10時から西新井ギャラクシティにて、受講者90名で開催されました。

講師は、公益社団法人全国子ども会連合会安全啓発ファシリテーター次長 杉浦隆様です。

今回のセミナーは、少連協でのジュニアリーダー・ユースリーダーの10代、20代の人たちにも参加いただき幅広い世代によるハラスメントの認識の違い等に関しての講演・



▲杉浦隆講師

また、各年代の違いを認識できるように12のグループに分けてディスカッション方式に行いました。

昭和世代にとっては何気ない言葉使いが既に〇〇ハラに相当しているとは知らず、良い勉強になりました。また、フキハラという不機嫌ハラスメント(モラルハラスメント)という言葉ではなく、態度、表情、空気感で「自分が不機嫌であること」を周囲にアピールし、精神的負担や萎縮を強いる行為があることも初めて知りました。常に相手に対して思いやりのある気持ちをもち生活をするように心掛けて行こうと改めて思いました。



参加者アンケートの紹介

○ いろいろな立場の方と話し合ったり、意見交換をしたりなど、様々な考え方を知ることができてよかったです。

○ ハラスメントが身近であることを改めて実感しました。

○ 活動していく上で特にコンプライアンス、ハラスメントは気を付けているつもりでしたが、まだまだ知らない事が沢山有り情報を取り入れられて良かったと思います。また機会があれば参加したいです。

○ ハラスメントの事例はよく分かったが、何がどうハラスメントとして定義されているのか理解・周知していかない限りは、「何でもハラスメントでしょ」という人ばかりで、ハラスメントやコンプライアンスの重要性は伝わってこないのではないだろうか。

○ 色々な世代や男女混合で話をし意見を交換することで自分にはない考えを知る事が出来てよかったです。子どもや保護者、地域で活動していく中で今日聞いた意見を参考に活動していきたいと思いました。

○ コンプライアンスやハラスメントは外の世界の事と思っていたように思いました。改めて自分の子育てや人との距離感も見つめなおして考えてみたいと感じました。

今後のセミナーで
取り上げて欲しいテーマ

- ・ 食育について
- ・ 地域とのかかわり方
- ・ 今回と同じテーマ
- ・ AIと人間の脳との関係について
- ・ SNSを深堀してほしい
- ・ ペットトーク
- ・ 子どもへの声掛け

(具体的な)

以上、いろいろな意見をいただき、皆さんが興味のあること、また来年度のセミナーのテーマについても大変参考になりました。誠にありがとうございました。



▲グループ討議の様子



▲テント講習



参加した 中学生の 感想

- いろんなことを学びましたか？
- 団結の方法
- 仲間との協力の仕方や大切さ
- リーダーシップの取り方
- 分担してみんなで協力すること

5月24日(日)、舎人公園にて、テーマは野外活動講習について行われました。火起こしのやり方、テント張りの実践を行いました。



▲火起こし講習

中学生の部 (2回め)

ジュニアリーダー スーパー研修会

JUNIOR
LEADER

中学生の部 (4回め)

7月12日(日)、弥生小学校にて、テーマは「応急手当講習 & 危険予知トレーニング」について行われました。

応急手当講習は、グループに分かれて、足立消防署員及び足立消防団員の方々より、基本的心肺蘇生法とAEDの使用法の指導を受けました。胸骨圧迫を2分間行う場面では、意外に疲れたらしく2分間



▲危険予知トレーニング

は長いと実感した子どもたちが多かったようです。危険予知トレーニングでは、携帯電話の使い方(SNS・ゲーム重課金)についてグループで話し合い、発表しました。

参加した 中学生の 感想

- 思ったより体を使って疲れた。
- 見た目は簡単そうだったが実際の時間は長かった。2分になりました。



▲胸骨圧迫



▲グループで発表

令和8年6月14日(日)、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。受付後、6人ずつのグループに分かれ、講座が始まりました。最初に、ファシリテーションとファシリテーターの話がありました。その演習として、ハイキング・野外炊飯・室内イベント等の様々な活動の中にある危険な場所や行動について子ども目線からの意見を出し合いました。

その後、事故を防ぐためにはどうすればいいかを話し合い、その中で最も気を付けるべき点を事故防止対策のスローガンとしてグループごとに発表しました。

話し合いの進行役がファシリテーターであり、イベントを始める際には、子どもたちから意見を引き出し、それをできるだけ短時間で上手に進める役割が求められます。

子どもたちに「危ない」と注意するだけではなく、子どもたち自身が考えて行動できるように指導していく方法を学ぶ有意義な講習会でした。



安全啓発 初級ファシリテーター 養成講習会



▲講習会テキスト

六少協 副会長 仁科 真由美

Camp

ジュニアリーダー研修会 キャンプ in 御殿場



キャンプ長 一枒 勇太郎

今年度も、御殿場市の国立中央青少年交流の家で夏のジュニアリーダー宿泊キャンプが開催され、参加者109名、スタッフ61名の総勢170名が参加しました。

初日の一瞬の豪雨以外は爽やかな好天に恵まれ、班で協力したテント設営や野外炊飯での豚汁やカレー作り、クラフトやシャボン玉、かき氷、ウォークラリー、水鉄砲遊び、そして夜のキャンプファイヤーと多彩なプログラムを満喫しました。

事前講習の技術を存分に発揮したジュニアリーダーたちは、このキャンプを通して、ひと回り大きくなって足立へ戻ってきました。

私は御殿場での初キャンプ長で緊張の連続でしたが、子どもたちは大きなケガや体調不良もなく最高の3日間となりました。



▶全員集合



▲今年はできました！
キャンプ・ファイヤー



▲食事の準備は手分けして



▲本日の寝床完成

【Bun Viaggio】

プログラムディレクター

小安 郁香

8月9日から11日までの2泊3日、御殿場市にある国立中央青少年交流の家に、小学6年生、中学生と総勢170名でキャンプに行ってきました。

今回は何とかお天気が味方してくれて、主要プログラムは概ね実施することが出来ました。キャンプたちは慣れないことにもめげず、一生懸命挑戦してくれていた印象です。リーダーたちもそれぞれの役職に向き合い、キャンプパーたちを支えながら取り組んでくれていたと思っています。

今回の合言葉「Bun Viaggio (ブオン ヴィアッジヨ)」は「良い旅を！」という意味です。この3日間での新しい出会いや経験、仲間と一緒に挑戦したことが、参加したみんなにとって一つでも心に残る思い出になり、今回のキャンプでの体験が、それぞれの「良い旅」の始まりになればいいなと思っています。



キャンプに参加した 6年生にインタビュー!!



▲水鉄砲のしっぽとり

◀ 渡邊果穂さん



ジュニアリーダーキャンプに参加して

渡邊 果穂

私がこのキャンプに参加したかった理由は、ジュニアリーダーの研修を受けてから初めての行事だったからです。

一番楽しかったのはキャンプファイヤーです。やる前は少し雨が降っていたので、やれるかどうか心配になりましたが、無事にできたのでとても嬉しかったです。

実際に始めると、ジュニアリーダーの先輩たちがとても盛り上げてくれて、またゲームまでしてくれたので、学校でやったよりもとても最高に楽しかったです。

特に楽しかったのはみんなで「キャンプだホイ」を歌って踊ったことです。みんなやることで、さらに楽しいことがわかりました。

雨の心配を吹き飛ばす先輩たちのパワーを見て、ジュニアリーダーは周りのみんなを楽しませて、まとめる存在なのだ勉強しました。

初めての行事だったけれど、みんなで協力する楽しさを心から感じる事ができました。ここで学んだ大切な経験を、これからは生活面でも活かしていきたいです。



▶ 自分たちのテント作り



▶ 上手に火起こしできたかな?



▲ おいしいカレーの
できあがり

協力すること・最後まで頑張ることの 大切さを学んだ3日間

東根作 美弥

私はジュニアリーダーキャンプに行きました。行く前は、友達ができるか、家族と離れて大丈夫か少し不安でした。でも、たくさんの友達ができ、初めての体験もたくさんできて、とても楽しい3日間になりました。

1日目は、班のみんなと協力してテントを作りました。暑くて大変でしたが、完成したときは嬉しかったです。夕食作りでは、初めてかまどの火をつけました。なかなか火がつかず苦労しましたが、みんなで作ったご飯はとてもおいしかったです。

2日目は、リーダービンゴやクラフト工作をしました。暑い中でもみんな協力して、2ビンゴできたのが嬉しかったです。夕食作りでは、初めて自分たちだけで火をつけることができ、成長を感じました。夜のキャンプファイヤーでは、歌ったりゲームをしたりして、みんなで楽しく盛り上がりました。

3日目は、水鉄砲のしっぽ取りをしました。みんな水にぬれながら遊んで、とても楽しかったです。帰るときはさびしかったけれど、「このキャンプに来て本当によかった!」と思いました。

このキャンプで、協力することや最後まで頑張ることの大切さを学びました。これからは、みんなを助けたり、盛り上げたりできるリーダーになりたいです。また来年も参加したいです!



▶ 東根作美弥さん



第55回連合運動会開催

第四地少協 副会長
小沼 久美子



▲玉入れ



▲徒競走



▲グリコ工場見学

令和8年5月10日(日)、晴天の中、第四地少協主催による第55回連合運動会を、弥生小学校にて、開催しました。現在は5町会の子ども会による午前中開催となっていますが、大人から子どもまで楽しめる競技を工夫しています。昨年から始めた○×クイズは、ご来賓を含む全員参加で大いに盛り上がりました。

当日は幼児から大人、中学生ボランティアを含む約170名が参加し、中学生も音楽の選曲や運営を積極的に支え、運動会が大いに盛り上がり、無事に終了しました。

地少協の活動



▲8の字ゲーム

グリコ工場見学

栗島地少協 会長代行
澁谷 義光

令和8年2月15日に青少年対策中央地区委員会主催で行われた自然科学体験教室に、栗島地少協、青井地少協の23人の子どもたちと参加しました。

行き先は、埼玉県北本市にあるグリコピアーストで、工場見学ツアーに参加しました。

加し、ポッキー製造などの過程を学習することができました。ガラスに貼り付けて真剣に見ている子どもたちが多かったです。見学途中では、ポッキーの試食もあり、最後にクイズが出題され、答えが出るたびに、歓声とため息が入り交じり、楽しい時間を過ごしました。帰りにはお土産もいただき充実した1日でした。



編集後記



今年度は、70周年に向けて、新たな10年間の第一歩の年となります。新たな始まりです。少連協ニュースの表紙も心機一転、リニューアルしました。

今後は、取材等を取り入れ、ジュニアリーダーの活動を今まで以上に伝えよう、調査広報部一同、力を入れて活動していきたいと思っています。今後ともご協力どうぞよろしくをお願いします。

76号を発行するにあたり、ご協力をいただいた皆様ありがとうございました。(川田)

